

## 1 子どもの豊かな学びの場を協創する

- 教育の現場でマネジメント力を発揮し、子どもの学びの機会や環境をつくります。
- 家庭・地域とともに子どもの学びを協創し、社会に開かれた教育課程をチーム学校の一員としてつくります。

## 2 学校運営をマネジメントし政策提言する

- 学校の自律的な運営を進めるために、教育行政事務の専門性を生かし学校運営に参画します。
- 教育行政の専門職として広い視野に立ち、副校長・教頭とともに校長を学校経営面から補佐する学校運営チームの一員として政策提言する役割を果たします。

## 3 組織に必要な人材を育成し体制を構築する

- 地域とともにある学校の組織力を高めるための責任と役割の自覚を戦略的に生み出す役割を担います。
- 学校・地域等の子どもにかかわるすべての主体が多様性を発揮しつつ協働し、目指す子ども像を実現する組織体制を構築します。
- あらゆる機会を捉えて能力向上とキャリア開発を図り、学校力向上に向けた自己実現のために学び続けます。

## 4 新たな価値を創造する

- 教育職員とは異なる視点を経営に取り入れ、従来の考え方に縛られない新たな価値を創造します。
- 自らの業務が波及効果により付加価値を得ることを見込み、業務のつながりを見出し、新たな協働を創造します。

## 5 情報をマネジメントする

- 情報収集・管理・編集・提供の機能を担い、学校（子ども・教職員）にとって有益な情報を提供、活用する意思と実践を欠かさず、先見性をもった情報マネジメントを行います。
- 知識基盤社会及び Society5.0 へ対応するため、社会の変化を常に最前線でとらえ、教育活動に必要な情報をリードすることで教育行政職員としての専門性を発揮します。

# 第3期学校事務のグランドデザイン

## — 学校事務は学校教育の未来創造 —

子どもの豊かな育ちを支援するため、事務職員が組織的かつ主体的に責任をもって学校事務を担っていくことを宣言します。

### ミッション

子どもの豊かな育ちを支援する

子どもを取り巻く環境は、ますます複雑化・困難化していることと合わせて予測困難で変化の激しい時代を迎えています。このような社会を生きる上では、変化に適応するのみならず、自立的・主体的に社会にかかわり、将来を創り出すことができるよう、自らを律する力強さが必要です。次世代を担う子どもが自ら育とうとする姿を支え教え導いていくことは社会全体の使命であり、必然的に学校のミッション、そして、学校事務・事務職員のミッションと考えます。

### ビジョン

目指す子ども像実現のため学びの場を協創する

子どもが学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質能力を伸ばせるようにするため、これからの学校組織「地域とともにある学校」における学校事務は、学校・家庭・地域等の協創により新たな学びの場を実現します。

「協創」… 学校・家庭・地域など子どもにかかわる多様な主体の協働により創り上げること。



# 地域とともにある学校

子どもの豊かな育ちを支援する **ミッション**

目指す子ども像実現のため  
学びの場を協創する **ビジョン**

**地域とともにある学校づくり 重点ポイント**

- 学校の自主性・自律性の確立
- 安全・安心な質の高い教育環境づくり
- 学校力の向上・学校運営体制の強化
- 社会に開かれた教育課程
- 学びの場としての学校の可能性と挑戦

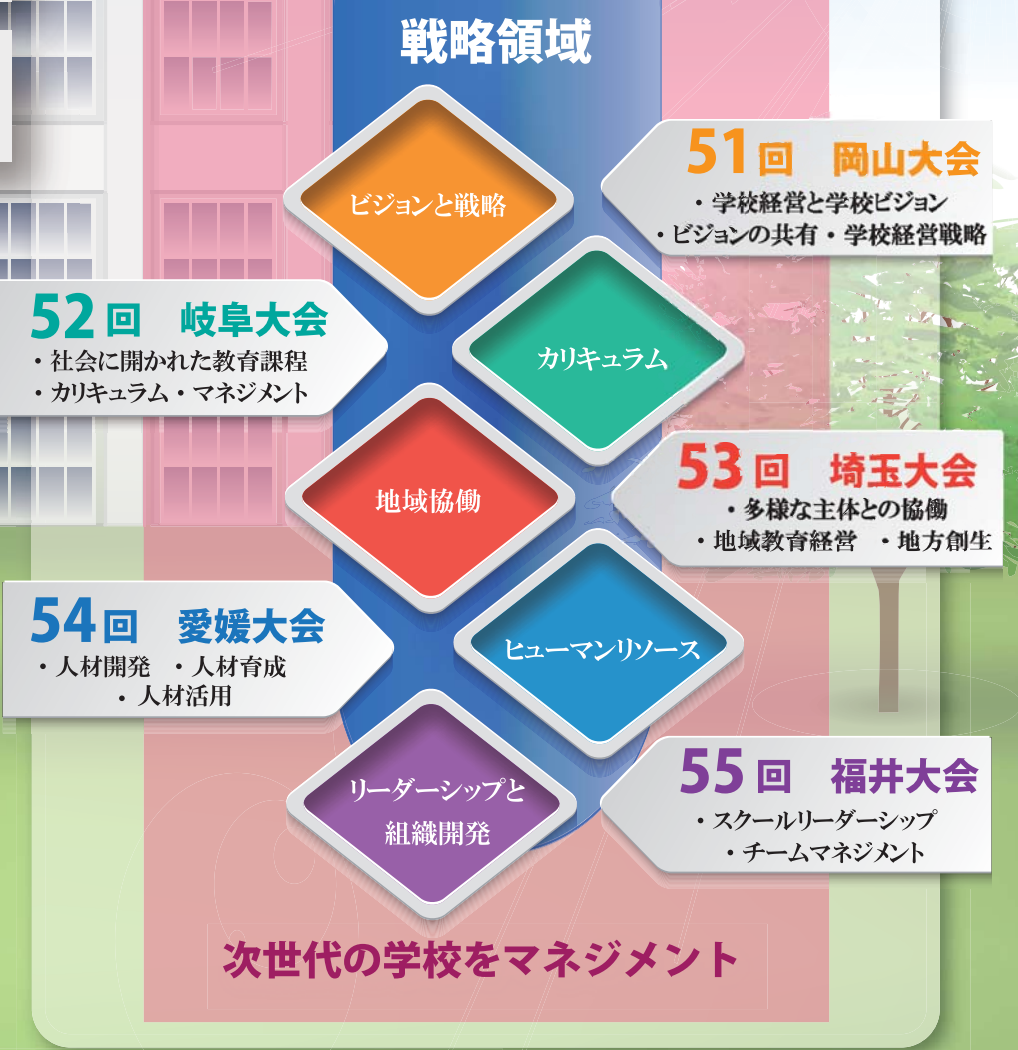
**これからの学校事務**

- 学校マネジメント
- 地域との連携・協働におけるコーディネート機能
- 企画提案・政策形成機能
- カリキュラム・マネジメント

**これからの事務職員**

- 子どもの豊かな学びの場を協創する
- 学校運営をマネジメントし政策提言する
- 組織に必要な人材を育成し体制を構築する
- 新たな価値を創造する
- 情報をマネジメントする

## 第9次研究中期計画



**方策 01 | 職務の確立**

「つかさどる」職としての新しい職務内容を確立

- ・キャリアに応じた新しい職務内容モデルの提示
- ・「チームとしての学校」における教育行政職員としての専門性の発揮

**方策 03 | 人材育成の強化**

新しい職務を担う力量を身に付けた人材を育成

- ・マネジメント力向上に向けた研修カリキュラムの策定と実施
- ・多様な研修機会の確保
- ・業務を通じた人材育成

**ビジョン実現に向けた5つの方策**

学校事務の新たな戦略づくりのキーワード  
「自立」「協働」「創造」

**方策 02 | 教育行政組織の構築**

共同学校事務室を活用した  
教育行政組織モデルを提示

- ・共同学校事務室の機能強化及び設置拡大の促進
- ・地域とともにある学校を創造する教育行政組織の構築
- ・学校・共同学校事務室・教育委員会の役割の整理

**方策 04 | 教育委員会との連携**

制度の確立に向けた教育委員会との連携

- ・職務規程
- ・人事制度
- ・人材育成

**方策 05 | 研究会活動の推進**

研究団体かつ職能団体として、ビジョン実現に向けた組織的な取組

- ・研究の継続及び本部研究と支部研究の連携
- ・全国的調査の継続と各支部への情報還元
- ・他団体・教育機関との連携
- ・学校事務に関する理解の促進
- ・研究会組織の維持

### 学校を取り巻く状況

- ・新学習指導要領
- ・第3期教育振興基本計画
- ・学校運営協議会設置の努力義務化
- ・地域学校協働活動の推進

### 事務職員を取り巻く状況

- ・急速な世代交代
- ・学校教育法の一部改正による職務規程の見直し「事務をつかさどる」
- ・「共同学校事務室」設置の制度化

第2期GD 成果と課題  
4つの基本的方向性

### 人

- 4層のキャリアごとに、各戦略領域において果たす事務職員の役割を整理し、具体例を提示
- 学校・家庭・地域の合意形成の仕組みづくりを提案
- 事務職員の研修プログラムモデルの提案及び研修テキストの開発
- ◇「つかさどる」職としての標準的職務の明示が必要
- ◇マネジメント力向上や専門性を高める研修制度の確立が必要

### 地域・教育行政

- 各市区町村で「地区学校事務室（共同実施組織）」が果たす役割を発信
- 「地域学校経営における意思決定組織」の仕組みを提案
- ◇校長の裁量権の拡大を含む学校と教育委員会との業務分担の見直しが必要
- ◇学校運営協議会における共同学校事務室の役割の整理が必要

### 組織

- 新しい学校組織における地区学校事務室の在り方や事務長、事務職員の役割等について提案
- ◇制度化された共同学校事務室を含めた学校事務の組織化の在り方についての整理が必要
- ◇事務長・事務主任の任命に関する位置付けの必要性及び配置や任命の推進が必要

### 研究会活動

- 特別委員会を設置し、これからの全事研活動の在り方について検討
- 研究活動を通じた大学等の教育関係機関・関係団体等との連携による学校事務に関する理解促進
- ◇円滑な全事研活動推進のための財政基盤の強化や本部・支部の連携の強化が必要